



目 次	
●会長あいさつ .....	1
●副会長あいさつ .....	2
●本部役員紹介 .....	3
●県教頭会研究大会に向けて .....	4～5
●専門部の活動 .....	6
●郡市教頭会ネットワーク .....	7
●新入会員の声 .....	8～9
●随想 .....	10



## 様々な課題に対して前向きに取り組み、 「連携」を大切する教頭会へ

新潟県小中学校教頭会

会 長 西 方 和 明

(新潟市立曾根小学校)

平成30年5月の県小中学校教頭会理事会において選出され、代議員会で承認をいただき会長を務めさせていただくことになりました。会員の皆様の御支援・御協力をいただき、関係諸団体と連携を図りながら、児童生徒の豊かな成長に一層貢献していく教頭会を目指していきたいと考えております。

さて、平成29年6月22日に、文部科学大臣から「新しい時代の教育に向けた持続可能な学習指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」を諮問し、同年12月22日中央教育審議会でも中間まとめがまとめられました。その後、具体的な方策を踏まえて、文部科学省が12月26日に「学校における働き方改革に関する緊急対策」としてとりまとめました。この「緊急対策」では、「業務の役割分担・適正化を着実に実行するための方策」「学校が作成する計画等・組織運営に関する見直し」等5点が示されました。特に、業務の役割分担・適正化を進めるための取組として、学校・教師が担うべき業務の範囲の標準職務が明確にされ、それぞれの業務を適正化するための取組が明示されました。また、時間外勤務の抑制措置として、勤務時間の上限の目安を含むガイドラインを検討し、提示することが盛り込まれました。

私たち教頭には、各学校において「学校の働き方改革」の先頭になって取り組むことが求められています。その実現のため、学校の実態を的確に把握し、各学校に適した対策を実施していく必要があります。

このような喫緊の課題に対応するためにも私たち新潟県小中学校教頭会は、新潟県小中学校教育の発展を目指し、研究活動を中核に据え、会員相互の交流を重視した活動を推進していく必要があります。また、全国公立学校教頭会・関東甲信越地区公立学校教頭会と連携を深めながら、本会の活動内容の充実・発展を図ることが大切です。そこで、今年度は次の3点を重点として取り組みます。

- 1 全国公立学校教頭会第11期の全国統一研究主題「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育（キーワード 自立・協働・創造）」の2年次に当たる。これを受けて本県では、サブテーマとして「主体的に学び、たくましく生き抜く子どもを育む学校づくり」（2年次研究）を掲げ、その達成に向け、ブロック別研究大会を開催する。
- 2 各郡市教頭会において会員同士の交流と連携を深め、充実した組織活動と効果的な会務運営を推進する。また、ここ数年増加傾向が見込まれる新採用教頭への必要な支援を行い、教頭職全体の資質能力の維持・向上を図る。
- 3 平成31年度の本県開催予定の関東甲信越地区教頭会研究大会を見据えて、研究の継続・発展を図り、協働研究の充実を目指した取組を推進する。

私たち教頭は、新しい時代に求められる資質・能力を子どもに育成し、複雑化・多様化した課題を解決するために、教職員だけでなく地域の人材等と連携した体制づくりに尽力します。教頭会も会員相互の連携を図りながら協力し取り組んでいきます。



## 今こそ 「チーム教頭会」として

副会長 小島 隆 宏  
(上越市立春日小学校)

「働き方改革」は、私たち教育現場にとっても喫緊の課題となっています。教育の質を落とすことなく、「業務改善」と「意識改革」をどのように進めていけばいいのか、試行錯誤を繰り返しながら進むべき道を定めていかなければなりません。私たち教頭職が、そのためのリーダーシップを発揮するときでもあります。今こそ、「チーム教頭会」として、課題を共有し、研究活動や研修、交流を通して課題解決に向けて取り組んでいきましょう。

昨年度までの3年間に渡り、研究部長として仕事をさせていただきました。その中で、強く感じたことがあります。新潟県小中学校教頭会の半世紀を超える長い歴史の中で、これまでいかに先輩方が子どもたちが生き生きと学ぶ学校教育の実現に向けて地道に活動を積み重ねてこられたかということです。関東甲信越ブロックや全国公立学校教頭会の会に出席すると新潟県の活動の充実ぶりや組織としての素晴らしさを実感します。

今年度は、副会長の任を務めることになりました。これまでにお世話になった会員の皆様への恩返しのご気持ちで精一杯務めたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



## 「心に火を付ける」

副会長 佐藤 昌 弘  
(長岡市立阪之上小学校)

今年度は次期学習指導要領の移行期に当たり、各校では新教育課程の準備に力を注いでいることと思います。県では学力向上に加え、教職員の働き方改革の推進も重要課題となっています。また、新採用の教員も多く、人材育成も学校の重要なミッションとなっています。職能向上にOJTが有効ということには異論はありませんが、職場で時間をかけて人材育成に取り組むことは難しい状況になっています。

むしろ働き方改革を進め、勤務時間の適正化によってプライベートの時間を確保し、その中で自己研鑽や心身の体制を整えることが質の高い教育活動につながるという考え方を大事にしなければいけません。子どもだけでなく教師も自ら学び続ける存在でなくてはならないということになります。

かつて、「よい教師とは？」と問われたことがありました。その方は最も優れた教師は子どもの心に火を付ける教師だと言っていました。そのように考えると、学び続ける教職員集団となるための教頭の役割が見えてくるような気がします。

この県教頭会が会員相互に学び合う場となり、私たちの心に火が付くような会となれるよう精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 時間があったら 何をしますか

副会長 牧野 剛  
(新潟市立東新潟中学校)

昨年度に引き続き、副会長を務めさせていただきます。微力ながら、西方会長を補佐しながら、会員一人一人のために一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

さて、先日の第一回理事会において、今年度の活動計画が承認されました。研究活動を中核とする本会では、今年度がブロック別研究大会になります。それぞれのブロックを主管される郡市教頭会の皆様に感謝いたします。そして、平成31年度に開催される関ブロ新潟大会に向けて、今年度のブロック別研究大会の成果をしっかりと引き継ぐことを実行委員会を代表してお約束いたします。

ところで、今年度の活動の重点に「働き方改革」が新たに盛り込まれました。多忙を極めていらっしゃる教頭先生方も、日々この課題に頭を悩まされているのではないのでしょうか。先日、研修会で、ふと考えさせられたことがあります。「あなたは、時間があったら何に使いますか。」という問いです。自分自身の心に余裕がないと、意外と答えられないなと思いました。「時間があれば〇〇〇がしたい。」まずは、自分自身の意識改革を進めてまいります。

# 平成30年度 本部役員紹介 (役職・氏名・現任校)

## 本部役員



幹事長  
宮本 透  
(新潟・潟東小)



会計幹事  
竹内 邦彦  
(新潟・新津第二小)



地区庶務幹事  
小島 淳  
(上越・浦川原小)



地区庶務幹事  
貝瀬 孝明  
(長岡・四郎丸小)



地区庶務幹事  
白井 安夫  
(新潟・豊栄南小)



地区庶務幹事  
近 貴志  
(村上・荒川中)

## 監査役員



会計監査  
梅川 豊  
(上越・安塚小)



会計監査  
松井 浩一  
(長岡・川崎小)



会計監査  
横山 学  
(新潟・白根第一中)

## 事務局



事務局  
脇屋 雅実

# 第54回 新潟県小中学校教頭会 研究大会に向けて



研究部長 山田 淳  
(新潟市立女池小学校)

今年度は、全国公立学校教頭会第11期研究活動の2年目になります。11月2日にブロック別研究大会を開催し、6課題14分科会に分かれて研究発表及び協議を行います。

第11期の研究では、自立・協働・創造に向けた子どもたち一人一人の主体的な学びを保障する学校づくりに焦点を当てて教育実践を重ねています。昨年度の1年次研究の成果と課題を踏まえて、それを生かした研究大会となるよう、各提言者が単位教頭会での組織的な取組のもとに提言発表の準備を進めています。

教頭にとって、日常の業務の他に研究大会の準備をすることが、どれほど大変なことかは容易に想像できます。そのうえで研究発表に取り組んでくださるブロックごとの取組に感謝するとともに、提言内容が当日のためだけで終わらずに、私たちの日々の業務へのエネルギーとなることを願っています。

## 1 研究主題

「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」  
(全国公立学校教頭会第11期統一研究主題)

## 2 サブテーマ

～主体的に学び、たくましく生き抜く子どもを  
育む学校づくり～ (2年次研究)

## 3 大会の趣旨

全国公立学校教頭会第11期統一研究課題「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」のもと、新潟県の今日的な課題を踏まえたサブテーマ「主体的に学び、たくましく生き抜く子どもを育む学校づくり」を追究する第11期の研究が2年次を迎えます。

本大会は、昨年度から取り組んできた「研究の継続性による成果と課題の焦点化」「研究の協働性の充実」「教頭の関与性の明確化」をさらに充実させることを目指します。また、一人一人の会員が主体的に参加し、各学校及び各教頭会でなされた取組に

ついて、その実践の有効性や妥当性を検証しながらも、お互いの意見交換を通して、会員一人一人が学校運営の力量を高めることも目指しています。

さらに各ブロックでは、これまでの大会運営に縛られることなく効率的な大会運営を検討していただき、その方法や形式を今後の研究大会運営への財産としていきます。

4 期 日 平成30年11月2日(金)  
午後開催の予定

## 5 分科会(6課題14分科会)

### 【上越ブロック】

課題番号と課題		提言教頭会
6 B	教頭の職務に関する課題 (中学校)	上越市・妙高市教頭会
1 A	教育課程に関する課題 (小学校)	
3 (2)	教育行政に関する課題	柏崎市刈羽郡小中学校教頭会

### 【中越ブロック】

課題番号と課題		提言教頭会
1 合	教育目標・教育理念に関する課題	長岡市三島郡小・中・総合支援学校教頭会
6 A	教頭の職務に関する課題 (小学校)	魚沼市小中学校教頭会
1 B	教育課程に関する課題 (中学校)	南魚沼郡市教頭会
3 (1)	施設・設備及び事務に関する課題	見附市教頭会
5 B	教職員の専門性に関する課題	燕市西蒲原郡小中学校教頭会



## 【下越Aブロック】

課題番号と課題		提言教頭会
5 A	教職員の専門性に関する課題 (小学校)	新潟市小学校教頭会
4 A	組織・運営に関する課題 (小学校)	佐渡市小学校教頭会
2 B	子どもの発達に関する課題 (中学校)	佐渡市中学校教頭会

## 【下越Bブロック】

課題番号と課題		提言教頭会
4 B	組織・運営に関する課題 (中学校)	胎内市小中学校教頭会
2 A	子どもの発達に関する課題 (小学校)	村上市岩船郡小中学校教頭会
3 (3)	PTA及び地域社会に関する課題	東蒲原郡小中学校教頭会

## 6 研究の基本方針

全公教の基本方針並びに全国統一研究主題を踏まえ、今年度も次の3点(3C)に焦点を当てた実践的な研究を進めていきます。

- (1)客観的で継続性のある研究 *continuity*  
 (2)組織的で協働性のある研究 *collaboration*  
 (3)教頭としての関与性を明確にした研究 *commitment*

## 7 研究内容について

新潟県小中学校教頭会では、「主体的に学び、たくましく生き抜く子ども」とは、次のような資質や能力を備えた子どもであるにとらえています。

- (1) 多様な個性・能力を伸ばし、充実した生活を主体的に切り拓くことができる子ども  
 → 「自立する子ども」  
 (2) 個人や社会の多様性を尊重し、共に支え合い、高め合うことができる子ども  
 → 「協働する子ども」  
 (3) 自立・協働を通じて新たな価値を創造していくことのできる子ども  
 → 「創造する子ども」

これからの激動の社会を生き抜く子どもたちには、

自ら考えるだけでなく、学校内外の多様な人々と協働しながら主体的に課題を解決し、新たな価値を創造する力が求められています。このような力を育むために、学校・家庭・地域の連携をさらに促進し、協働型・双方向型の学びへと移行させていかなければなりません。

また、学校という場が、「児童生徒の教育の場」とであると同時に、「多様な人々が集まり、協働し、創造する学びの拠点」となるように進化させていくことが期待されています。

よりよい方向を目指した教育課程・教育活動の改善と充実、教師の資質・能力、指導力の向上に取り組んでいきましょう。

学校づくりの中核となり、校長を補佐しながら学校運営を推進し、職員に対してリーダーシップを発揮していくことが教頭の職務であり責務です。新潟県小中学校教頭会は、組織的・協働的に、教頭のあり方を具体的かつ多面的に追究し続けていきたいと思ひます。

## 8 終わりに

研究大会に向けての準備や当日の運営は決して楽な仕事ではありません。「働き方改革」が叫ばれている中での取組は、時代に逆行しているかもしれません。研究大会への取組の在り方や当日の運営についての改善をしていくことは今後の課題であると考えています。

それでも、11月2日(金)に行われるブロック別研究会には、新潟県の全教頭が参加分科会・グループ協議に主体的に参加するようお願いいたします。そして、参加した会員一人一人が、研究大会の成果と課題を持ち帰るとともに、それぞれのブロックの企画・運営に奔走した担当教頭会の皆様の思いを受け取ってほしいと思ひます。

平成31年度は、新潟市を会場にして、関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会(第55回新潟県小中学校教頭会研究大会)が行われます。今の時代にふさわしい研究大会にするよう取り組んでいきましょう。

# 専門部活動報告



## 教育課題部の活動

教育課題部長 **多々良 儀 仁**  
(長岡市立東中学校)

第54回新潟県大会研究主題「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育～主体的に学び、たくましく生き抜く子どもを育む学校づくり～(2年次研究)」をテーマに、6つの教育課題についての取組状況について調査します。基本的には、前年度までの取組を踏襲し、調査データを積み上げていきたいと考えております。

今年度は、学習指導要領移行期間の初年度となります。各校におかれましては、完全実施に向けて、取組をすすめていることと思います。また、中学校においては、部活動ガイドラインが示され、全校体制で改革を進めていることと思います。このような変革期における教頭の役割は、極めて重要であり、かつ多岐にわたります。皆さんから回答いただいた内容を基に、教育課題部で集約・分析して、教頭としてどのように取り組むべきかを考えていきたいと思っております。

結果を県小中学校教頭会のホームページや年度末発行の『教頭の勤務実態調査及び教育課題意識調査』(調査要請部と合同作成)に掲載予定です。



## 調査要請部の活動

調査要請部長 **島 津 弘 次**  
(新潟市立有明台小学校)

次の2つの事業を柱に活動を展開します。

- 1 全国公立学校教頭会個人調査及び勤務実態調査(本県独自)の実施と報告書の作成
- 2 「平成30年度新潟県義務教育の振興に関する要望書」の基礎資料作成のための調査実施と意見報告書作成

昨年度末に発行した報告書によれば、朝7時以前

に出勤している会員の割合が45.2%、夜20時30分以降に退勤する割合は25.8%で、睡眠時間5時間未満の割合が18.0%でした。この厳しい実態を関係機関に訴え、全公教とも連携して勤務条件の改善につなげていきたいと考えています。

10月には、8月下旬に県校長会から示される「県義務教育の振興に関する要望書」の要望事項に合わせ、アンケート調査を実施します。私たち県教頭会の要望が次年度に反映されるよう、会員の皆様の忌憚のないご意見をよろしく願います。



## 会員のネットワークをつなぎ、実践を共有する広報活動

広報部長 **潤 間 る み**  
(新潟市立岩室中学校)

県内の各学校では、県の教育課題解決に向けて地域の特色を生かしながら、すばらしい教育実践を行っています。広報部として、県教頭会の活動をはじめ、ブロック別研究大会に向けた取組や郡市教頭会の取組などを、会報の発行を通じて紹介していきます。

186号…本部役員の紹介と挨拶、ブロック別研究大会に向けて、専門部の活動、郡市教頭会の紹介、新入会員の声、随想

187号…ブロック別研究大会に向けて、全公教札幌大会参加報告、郡市教頭会の紹介、新入会員の声、特集(働き方改革①)、随想

188号…ブロック別研究大会報告、関プロ栃木大会の報告、郡市教頭会の紹介、専門部活動報告、新入会員の声、特集(働き方改革②)、随想、教育懇談会報告

今年度の「特集」は、学校の喫緊の課題である「働き方改革」についてです。特色ある取組を2つの教頭会から紹介していただく予定です。

会報の発行に際し、例年どおり郡市会長から執筆者の選定及び原稿依頼をお願いし、会員の皆様からは、ご多用中、原稿執筆等にご協力いただきます。704名の会員のネットワークをつなぎ、様々な実践を共有できるよう、広報部員で協力して会報を編集していきます。どうぞよろしく願いいたします。

# 郡市教頭会ネットワーク



三条市小・中学校教頭会  
深澤 正 英  
(三条市立第三中学校)

## (1) 小中一貫教育の推進

現在、三条市は「義務教育学校」「小中一体校」を含めた9つの中学校区で「学園呼称」を定め、小中一貫教育を推進しています。この10年間の取組における大きな成果として、「小中の先生方が文化の違いを理解し合いとても仲良くなったこと」が挙げられます。

## (2) 校種を越えた「横の絆」

当教頭会は、小学校19校、中学校8校、義務教育学校1校の30名で構成され、年間6回の定例会を実施して研修と情報交換を行っています。「非常変災」「働き方改革」「地域連携」等に加え、本年度は「特別な教科 道徳の評価」「外国語・外国語活動のあり方」を位置付けました。選択と集中を図り、時宜にかなう問題に竿を差し「本音」で学び合っています。

## (3) 立場を越えた「縦の絆」

教育センター長、指導主事、総括事務主幹を講師に迎えた教育課題研修を、定期的実施しています。「三条市の教育動向」「いじめ・不登校」「特別支援教育」「人間関係づくり」「学校預かり金」等の課題の把握、解決に向けた手立てを事例研修します。また、年度末に代表校長の皆様から、貴重な経験に基づく講話をいただいています。小中一貫教育推進課と市校長会の皆様には、年3回実施する懇親会にも参加いただき、不易の教育観を学ばせていただいています。

## (4) 心の拠り所となる教頭会

毎年、それぞれの教頭の実践や持ち味を活かして、研修冊子「群流」を発刊しています。

「教頭は笑顔が一番。元気であれ。」と言われますが、現実はその日ばかりではありません。だからこそ、会えばすぐに分かり合え、様々な考えや感性に触れ、互いに元気になる教頭会を目指し、三条市の発展に寄与したいと考えています。



## 教頭会を 情報共有の場に

新潟市小学校教頭会  
平出 靖  
(新潟市立桃山小学校)

新潟市小学校教頭会は、113か校・120名の教頭で組織され（7校が複数配置）以下の活動を行っている。

### 1 全員研修会

今年度は、9月にプロ会議ファシリテーターを講師に招き、「働き方改革」を実現するための効率的で効果的な会議の運営方法を学ぶ予定である。

### 2 総務会

会長・副会長・事務局・各区代表・専門部長（生徒指導・研修・財政・庶務厚生・調査）・市立幼稚園教頭会長が集まり、年8回開催している。新潟市の小学校教育全体並びに幼小連携を視野に入れながら次の活動を行っている。

- 市教委学校支援課からの御指導
- 教頭会の活動の企画・調整
- 情報交換

### 3 各区教頭会

市内8つの区ごとに、年8回開催している。各区の実情に応じながら次の取組を行っている。

- 市教委学校人事課からの御指導
- 各区教育支援センターからの御指導
- 総務会報告
- 情報交換
- 各区ごとの小中合同教頭会（年2回）
  - ・小中学校の共通課題を設定し、各区で工夫した研修を行っている。

### 4 関ブロ教頭会研究大会新潟大会に向けて

平成31年11月7日、8日に開催される関ブロ大会に向けて、新潟市中学校教頭会と共に実行委員会を組織している。第1回実行委員会で大会の概要を確認し、今後は6つの部ごとに準備を進めていく。県内外から1600名を超える教頭が集まる。県教頭会の会員の皆様にもご協力をお願いしたい。





## 「明日も行きたくなる学校」 の具現を目指して

上越市立大潟町小学校

西 健 志

教頭として最初に赴任することとなった大潟町小学校は、4年前にも勤務した思い出のある学校です。以前お世話になった保護者の方に「お帰りなさい」と言っていただけなのは嬉しいものでした。

当校の合言葉は「明日も行きたくなる学校」です。「明日も友達に会いたい」「明日またこの続きを勉強したい」と思い願う子どもたちの姿を目指しています。学校づくりの合言葉として、とてもよいフレーズです。

教頭という自分自身の役割は、職員にとっても「明日も行きたくなる学校」にすることだと考えます。私たち自身が「明日も子どもたちと会いたい」「明日は、こんな授業をするぞ」と思える職員集団になっていくことこそが、子どもたちの「明日も行きたい」気持ちを高めるのだと思います。校長先生や先輩の先生方からの御指導をしっかりと受け、1日も早く、その役割を果たせるよう努力してまいります。



## 「木のぬくもり」と 「人のぬくもり」

加茂市立加茂西小学校

渡 邊 俊 之

うぐいす張りの廊下、木の梁がむき出しの体育館、瓦葺きの屋根……。当校は県内でも珍しくなった築57年の木造校舎です。至る所に修繕の必要はありますが、思い切り「木のぬくもり」を感じられる校舎です。

そのおかげでしょうか。穏やかで、友だちにも優しい声かけができる子どもたちが多いように感じますし、この校舎は子どもたちの自慢にもなっています。

着任して、あっという間に2か月が過ぎました。校長先生はじめ教職員の皆さんに支えられ、目の前しか見えなかった状態から少しずつ周りが見えてきたところです。これからは、学校と地域・保護者、地域と子ども、そして子ども同士とのつながりを深められるよう知恵を絞り、「人のぬくもり」も感じられる学校づくりをめざしていきます。



## 保護者・地域の皆様と共に

小千谷市立小千谷小学校

吉 田 卓 司

前日から降り続いた雨。実施できるか不安な気持ちを胸に出勤すると、グラウンドは一面湖のように。そんな中で迎えた新任教頭としての初めての運動会。「絶対に実施するんだ。」という強い思いを持ちながら黙々とグラウンド整備を行った教職員。実施を信じ、開門前から並ぶ大勢の保護者の皆様。そんな姿に後押しされ、実施決定。天候も回復し、保護者や地域の皆様の温かい声援の中で、リーダーを中心として心を一つに力を発揮した子どもたち。多くの喜びと感動のある運動会となりました。

また、多くの保護者や地域ボランティアの皆様から様々な教育活動を支えていただいています。学校は、保護者・地域と連携・協働して子どもの成長を支える場です。そんな姿が具現されている小千谷小学校の一員となれたことへの誇りと責任を感じ自分の役割を果たせるよう精一杯取り組んでまいります。



## やりがいの創出を

燕市立分水北小学校

小 池 哲 弥

春、4月。桜のつぼみがふくらむ頃、大河津分水を脇に見ながら蒲原平野を進みます。どんな学校だろう、どんな人との出会いがあるのだろうと、まだ見ぬ環境に期待しながらも、教頭職としての重責に不安を抱えながらの初出勤でした。

いざ職務に就いてみて改めて感じたのは、様々なメット文書の多さです。こなそうとしても次から次へと新たに文書が届き、慣れない中で一つ一つの内容を確認しているだけで一日が暮れていきます。

そんな中で、本来ならこちらが助けるべきところを多くの人に助けられながら業務をこなしてきたように思います。そして、教頭職のやりがいとは、こうした人とのつながりの中での仕事にこそあるのだと感じます。学校の活力を高めるため、できることを粛々と行いながら自身の教頭職のやりがい感を高めていきたいと考えています。





## 日々わくわく

見附市立今町中学校

羽鳥 益実

教育の先進的な取組をしている見附市に着任し、生徒や職員から「教頭先生」と呼ばれるようになって2か月半が経ちました。最近気付いたことは、「校長を助け、校務を整理する」とは、「ありとあらゆることをする」という意味だということです。

休日の午後、「グラウンドへのドクターヘリの着陸許可がほしい」と見附消防署から電話があったり、グラウンドで凧揚げをしていた生徒の凧が民家に落ち、謝罪に行ったりしました。また、忌引きの事務員さんに代わって1週間事務仕事をしたことや、PTAや地域の方との飲み会も数多くありました。教頭の仕事は、まさに多岐にわたると実感しています。

そんな私ですが、市の教頭会の先輩に随分助けていただきました。そして今回、県の教頭会にも仲間入りさせていただいたので、まさに「鬼に金棒」だと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## 小中連携校に着任して

佐渡市立前浜小学校

後藤 洋子

4月、校門には2つの名前が並ぶ。前浜小学校と前浜中学校。1つの校舎に、小学校と中学校があり、小中学校職員、そして小中学校の管理職も1つの職員室にいるのだ。今までとは異なる環境でのスタートに戸惑いを覚えたが、今ではこの出会いに感謝している。

校舎巡視をして感じた、小学校棟と中学校棟の階段の高さが異なること。学級担任制の小学校と教科担任制の中学校職員の動向が分かること。小中兼務の事務職員、養護教諭、庁務員と声を掛け合い、小中教頭が連携して校務を行うこと。校種職種の異なる教職員集団から生まれるよさを生かし、教育活動に取り組んでいる。

校庭からは新潟がうっすら見える海を背景に、グラウンドを囲むように田んぼが並ぶ。トキが安全と感じた田んぼのみ、餌場に舞い降りる。トキを選んだ田んぼのように、児童生徒、保護者地域の方から信頼される教頭となれるよう精一杯努めていく所存である。



## 管理職としてのスタート

胎内市立中条中学校

友野 直己

4月当初は「教頭先生」と呼ばれてすぐに反応できない自分がありました。今は抵抗なく振り返ることが出来ます。教頭職としてまた初単身赴任と、新しい生活が始まりました。日々の業務、学校の状況把握、職員との関わり、関係機関との連携など慌ただしい日々ではあります。笑顔で楽しみながら仕事に向かうしかないと思います。そのためには、まず健康第一です。健康管理にも気を付けたいと思います。

まだ、わずか2か月教頭職です。私は教頭職に必要なのは、段取り力とコミュニケーション力ではないかとひしひしと感じています。緊急性と優先順位をとっさに判断できる力だと思います。今はそれを磨くとても良い経験をしているのだと自分に言い聞かせながら取り組んでいます。先輩の先生方からもご教示いただきながら、日々の業務を推進したいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



## 子どもたち、地域のために

阿賀町立鹿瀬小学校

水藻 正美

教頭として初めて赴任する鹿瀬小学校は、この1年を最後に閉校する学校です。「新しい職務を覚える」という緊張以上に、「閉校に寄せる思いを受けて職務を果たす」という緊張を強く感じたスタートでした。

4月、1年の始まりに学校長より子どもたちと職員皆で2つのことを確認しました。

- ①一つ一つの行事や活動を大事にすること
- ②最後のよき思い出づくりに努めていくこと

この言葉を聞き、私にとっては初めての1年、しかし、児童、保護者、地域、教職員にとっては、最後の1年になるのだということを改めて実感しました。

明治7年開校の歴史ある鹿瀬小学校。節目となる大切な年に教頭として赴任できたことに喜びと責任を感じ、「子どもたち、地域のために」を合言葉に職員をリードしていける教頭になるべく、日々情熱をもって取り組んでいきます。

# 随 想



## マラソン大会に出場して

妙高市立妙高中学校

佐藤 敦史

昨年、興味本位で地元開催の時間制限がゆるいハーフマラソンに出た。人生初マラソン大会出場である。途中暴風雨になったがゆっくりとしたペースで何とか走り切れた。いい気になって今年はずでに2回、大会に出場した。この年になって応援される経験などほとんどない中、沿道から盛大な応援。しかもおもてなしがすばらしく気分爽快になった。

私が走ることを始めたのは15年ほど前だろうか。近所を週一回ほどで、ただただ自分のストレス解消と健康管理のために行っていた。5年ほど前から週1回程度、スポーツジムにも通うようになり、知り合いの教員やお世話になった保護者にも会うようになった。少し視野が広がり楽しくなった。

教頭職は、仕事柄職員室にいることが多い。歩くことも極めて少ない。一人職の大変さを分かり得ない環境のストレス、運動不足を解消しなければと強く感じる毎日。だから細々ではあるが、走ることは長く続けていきたいと思う。

自分自身が元気でいれば、職員も生徒も元気でいられると信じ、今後も健康に留意して、少しでも職場環境を明るくしていくつもりである。



## 座席配置で職員室の環境を整える

阿賀野市立笹神中学校

臼井 政之

教室の「席替え」の方法については、様々な考え方があ。教室内の座席も教育環境の一部であるという考え方から、教師が個々の特性や人間関係を考慮し意図的に決める方法がある。また、誰とでも協力できる子どもたちになって欲しいという願いから、くじ引き等により決める方法もある。どの方法をとるにしても、席替えは、学級の現状を十分に把握した上で、教師の指導の下で行われる必要がある。

ところで、職員室の先生方の座席は誰がどのように決めているだろうか。子どもたちの席と違い、先生方の席は通年変わらない学校がほとんどである。

昨年度末、校務分掌案が固まった後、私は職員室の座席表の考案に力を入れた。職員室の学級担任である教頭の重要な仕事と考えたからである。例えば、2人の特別支援学級担任の座席を職員室の中心に置き、各学級担任との連携が常にとれるようにした。各学年主任や教務主任、生徒指導主事の意見を取り入れながら修正を繰り返す中、座席表は完成した。

今、職員室の雰囲気は活気と笑いに満ちている。学級担任が教室環境を整えるのと同様に、教頭は職員室環境を整えるという重要な役割を担っている。

### 平成30年度 各種大会日程

- 1 全国公立学校教頭会研究大会 札幌大会 8月1日(水)～3日(金)
- 2 県同和教育研究集会 佐渡市 7月31日(火)
- 3 第54回県小中学校教頭会研究大会 11月2日(金)
- 4 第59回関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会 栃木大会  
11月8日(木)、9日(金)
- 5 第43回全国公立学校教頭会 中央研修大会 2月8日(金)

\*各研究大会への参加ご協力ありがとうございます。よろしくお願ひします。

新潟県小中学校教頭会  
[事務局]  
県教頭会ホームページ  
全国公立教頭会ホームページ

〒950-0911 新潟市中央区笹口2丁目7-17 和田ビル2F  
E-mail n-kyotoh@crest.ocn.ne.jp TEL (025) 244-8225  
http://www.niigata-kyotokai.jp/ FAX (025) 244-5060  
http://www.kyotokai.jp/